

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
デザイン科 グラフィックデザイン専攻											
デザイン史											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	角田知義			実務経験	無	職種					
授業概要											
デザインの領域とその変遷について学ぶ。											
到達目標											
デザイナーとしてのアイデンティティーを培う基礎として、「デザインの概念」「デザインという行為」「デザイン物と社会」という三つの視点を持ち、これらの視点と知識を持つことの理解と共に、具体的にはデザインを行う上で必須となる「デザイン言語」「観察・分析・整理力」、「発想方法」、「表現技術、設計力」、「思想、社会」についての幅広い知識を習得できる基礎力の向上と獲得を目標とする。											
授業方法											
デザインは“考え方（観察・分析、思考）”と“行為（デザインング、表現技術）”と“成果（デザインされたモノ、コト）”の三つのレベルで語ることが出来る。本授業では、デザインの歴史、今までにデザインされたモノを参照しつつ、これらの三つのレベルで考えることにより、多様化、変化し続ける21世紀のデザインのあり方、課題、役割、展開についての理解を深める。											
成績評価方法											
最終レポート55%学期末のレポート、課題を総合的に評価する。中間レポート20%宿題形式のレポート（2回）。振り返りシート15%毎時間、受講した授業内容を振り返りまとめ提出。受講態度10%出席状況、遅刻の有無、受講態度を評価。											
履修上の注意											
デザインについての基礎的な知識を形成する授業であるので情報量は多くなる。情報収集・整理というでも観点でも授業に集中してノートをとることが必要。各自の理解度の確認、講義内容に対しての質疑応答のため、毎時間「授業の振り返りシート」を記入、授業時間終了時に提出する。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。											
教科書教材											
レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	デザインの基本①										
第2回	デザインの基本②										
第3回	デザインの基本③										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
デザイン科 グラフィックデザイン専攻	
デザイン史	
第4回	デザインの基本④
第5回	デザインの基本⑤
第6回	デザインの近現代史①
第7回	デザインの近現代史②
第8回	デザインの近現代史③
第9回	デザインの近現代史④
第10回	デザインの近現代史⑤
第11回	デザインの捉え方、考え方①
第12回	デザインの捉え方、考え方②
第13回	デザインの捉え方、考え方③
第14回	デザインの捉え方、考え方④
第15回	デザインの捉え方、考え方⑤